

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	社会基盤工学総合演習	
科目基礎情報							
科目番号	0028			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	社会基盤工学専攻			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	各テーマのプリントなど						
担当教員	渡辺 力,澤村 秀治,平沢 秀之,宮武 誠,小玉 齊明						
到達目標							
1. 演習を通して土木工学に関する実践的な基礎技術を身につけている(B-3)。 2. データの整理や分析などに、コンピュータなどの情報技術を用いることができる(C-1)。 3. 設計や製図、解析などに情報技術を活用できる(C-2)。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	土木工学の諸問題に対して、情報技術を活用して最適な成果（あるいは解）を求めることができる。		土木工学の諸問題に対して、情報技術を活用することができる。		土木工学の諸問題に対して、情報技術を活用することができない。		
評価項目2	コンピュータなどの情報技術を用いて、よりの確な分析やデータ整理を行うことができる。		コンピュータなどの情報技術を用いて、データ整理や分析を行うことができる。		コンピュータなどの情報技術を用いて、データ整理や分析を行うことができない。		
評価項目3	情報技術を活用して、複雑な設計・製図、高度な解析を行うことができる。		情報技術を活用して、設計・製図、解析を行うことができる。		情報技術を活用して、設計・製図、解析を行うことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 (B-2) 学習・教育到達目標 (B-3) 学習・教育到達目標 (C-1) 学習・教育到達目標 (C-2) JABEE学習・教育到達目標 (B-2) JABEE学習・教育到達目標 (B-3) JABEE学習・教育到達目標 (C-1) JABEE学習・教育到達目標 (C-2)							
教育方法等							
概要	構造系、水・環境系、地盤・防災・施工系、計画・マネジメント系、地域系、デザイン系専門科目に関する情報技術を活用した演習を通して、専門知識を深めるとともに(B-2)、コンピュータを用いた実践的な基礎技術を身に付ける (B-3, C-1, C-2)。また、提起された課題に取り組む上で、データの整理や分析(C-1)、設計や解析(C-2)に、コンピュータなどの情報技術を活用できるようになる。						
授業の進め方・方法	提起される問題に関して、事前の準備を含めその内容を十分に理解して臨み、自主的かつ積極的に取り組むこと。						
注意点	「社会基盤工学専攻」学習・教育到達目標の評価： 各担当教員が報告書の内容によりテーマごとに評価し (B-2, B-3, C-1, C-2) (100%)、平均して評点する。なお、レポートの提出期限を原則1週間とし (諸事情による変更は、担当教員の判断による)、レポートの提出が締切日を過ぎた場合には、原則として、60点を最高点とする。また、1テーマでもレポートが未提出の場合には、当該科目の成績を不合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		レポート			合計		
総合評価割合		100			100		
専門的能力		100			100		